

令和8年度全国学力・学習状況調査 結果概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象・内容、調査期日

○ 調査対象・内容

(1) 小学校

ア 対象 小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 内容 国語、算数、児童質問調査（C B T：コンピュータ使用型調査）

(2) 中学校

ア 対象 中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

イ 内容 国語、数学、英語（C B T：コンピュータ使用型調査）、生徒質問調査（C B T：コンピュータ使用型調査）

※ 学校質問調査を併せて実施

○ 調査期日 令和8年4月20日（月）～5月29日（金）

※ 児童質問調査、中学校英語・生徒質問調査、学校質問調査は、文部科学省が指定した期日・期間に学校ごとに実施

3 調査を実施した学校数・児童生徒数

小学校	学校数（校）	児童数（人）	
		国語	算数
茨城県	441	20,913	20,921
全国（公立）	18,077	922,411	922,778

中学校	学校数（校）	生徒数（人）		
		国語	数学	英語
茨城県	224	20,103	20,123	20,255
全国（公立）	9,098	841,873	842,491	839,203

4 結果一覧

（％：平均正答率、中学校英語はIRTスコア） ※IRT：項目反応理論（難易度が高い問題に多く正答できると、高いスコアが与えられる）

	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語
茨城県	61%	55%	65%	57%	494
全国（公立）	60.9%	56.4%	63.9%	57.0%	499
順位	14位	20位	6位	13位	20位

【参考】前回調査（令和7年度）の結果

★英語は3年に一度の実施のため令和5年度の結果

	小学校調査		中学校調査		
	国語	算数	国語	数学	英語★
茨城県	67%	57%	55%	50%	45%
全国（公立）	66.8%	58.0%	54.3%	48.3%	45.6%
順位	15位	23位	7位	8位	15位

※ 都道府県別の教科の平均正答率は、国から小数点以下を四捨五入した整数値で提供されている。

※ 順位については、国から提供された都道府県の平均正答率をもとに県が算出

5 教科に関する調査の結果概況

〔資料の見方〕

- ・◇は比較的にできている点、◆は課題のある点を示しています。
- ・比較的にできている点については、本県において正答率が高い主な二つを示しています。課題のある点については、本県の学力向上施策に照らし、課題と捉えた主な二つを示しています。

【小学校】国語 結果の概況

- ◇相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができている。 (1)一 県 75.8% 国 73.9%)
- ◇話や文章の種類とその特徴について理解することができている。 (3)一 県 74.7% 国 76.7%)
- ◆学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。 (2)三イ 県 36.3% 国 45.2%)
- ◆目的に応じて、必要な情報を見付けることに課題がある。 (3)三(1) 県 52.3% 国 55.5%)

学習指導要領の内容、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)		平均正答率 (%)	
			茨城県	全国
学習指導要領 の内容	知・技	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (4)	64.6	66.8
		(2)情報の扱い方に関する事項 (2)	52.8	52.3
		(3)我が国の言語文化に関する事項 (0)		
	思・判・表	A 話すこと・聞くこと (3)	66.5	65.8
		B 書くこと (2)	48.7	45.7
		C 読むこと (2)	63.3	65.9
評価の観点	知識・技能 (6)		60.6	62.0
	思考・判断・表現 (7)		60.5	60.1

【中学校】国語 結果の概況

- ◇助動詞の働きについて理解することができている。 (1)一 県 83.8% 国 84.3%)
- ◇表現の効果を考えて描写することができている。 (3)二 県 92.5% 国 92.3%)
- ◆語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題がある。 (4)二 県 33.3% 国 35.2%)
- ◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がある。 (4)四 県 37.5% 国 38.9%)

学習指導要領の内容、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)		平均正答率 (%)	
			茨城県	全国
学習指導要領 の内容	知・技	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (5)	63.2	63.0
		(2)情報の扱い方に関する事項 (1)	71.5	70.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項 (0)		
	思・判・表	A 話すこと・聞くこと (3)	66.6	63.9
		B 書くこと (3)	68.0	67.4
		C 読むこと (3)	58.9	59.7
評価の観点	知識・技能 (6)		64.6	64.2
	思考・判断・表現 (9)		64.5	63.7

【小学校】算数 結果の概況

- ◇小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができている。(3)(1) 県 92.8% 国 94.5%)
- ◇示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができている。(4)(2) 県 76.2% 国 78.1%)
- ◆基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことに課題がある。(2)(4) 県 32.1% 国 34.2%)
- ◆二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。(4)(3) 県 16.0% 国 17.9%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)	平均正答率 (%)	
		茨城県	全国
学習指導要領の領域	A 数と計算(8)	59.3	61.1
	B 図形(4)	54.2	55.3
	C 測定(1)	76.2	78.1
	C 変化と関係(3)	39.6	41.1
	D データの活用(4)	47.5	48.6
評価の観点	知識・技能(12)	58.3	60.1
	思考・判断・表現(4)	44.5	45.4

【中学校】数学 結果の概況

- ◇具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができている。(1) 県 85.1% 国 85.7%)
- ◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることができている。(6)(1) 県 76.3% 国 73.2%)
- ◆数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。(7)(2) 県 36.4% 国 33.9%)
- ◆データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することに課題がある。(9)(3) 県 39.9% 国 31.9%)

学習指導要領の領域、評価の観点ごとの平均正答率 (%)

分類	区分 (問題数)	平均正答率 (%)	
		茨城県	全国
学習指導要領の領域	A 数と式(5)	68.3	67.8
	B 図形(4)	44.5	48.7
	C 関数(3)	55.9	54.8
	D データの活用(4)	54.5	53.5
評価の観点	知識・技能(12)	62.1	63.0
	思考・判断・表現(4)	40.1	39.1

【中学校】英語 結果の概況（公開問題の結果から）

- ◇日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができている。
(3) 県 76.0% 国 76.0%)
- ◇日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができている。
(7) 県 72.3% 国 72.4%)
- ◆社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことに課題がある。
(10)(1) 県 44.3% 国 47.5%)
- ◆音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用することに課題がある。
(11)① 県 53.8% 国 58.9%)
- ◆社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題がある。
(19) 県 22.2% 国 25.8%)

公開問題において生徒全員が取り組む問題（9問）の技能別平均正答数

	茨城県	全国（公立）
聞くこと	1.1 / 2	1.2 / 2
読むこと・書くこと	2.4 / 5	2.5 / 5
話すこと	0.6 / 2	0.7 / 2

- ※ 中学校英語では、「聞く」「読む」「書く」の3技能について、4月20日～23日のうち指定された期日に調査を実施した。「話す」については、4月23日～5月29日のうち指定された期日に調査を実施しており、結果は9月以降に文部科学省から提供される予定である。
- ※ 問題は、公開問題と非公開問題を組み合わせて構成されている。

6 教科に関する児童生徒質問調査結果

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合

	国語の勉強は好き		国語の授業内容はよく分かる		国語の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	57.9%	58.6%	81.9%	79.4%	91.3%	89.2%
全国（公立）	57.4%	57.2%	81.5%	76.8%	90.4%	88.2%

	算数・数学の勉強は好き		算数・数学の授業内容はよく分かる		算数・数学の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県	58.0%	57.4%	78.0%	74.6%	91.5%	78.6%
全国（公立）	57.6%	56.1%	77.5%	74.2%	91.0%	76.5%

	英語の勉強は好き		英語の授業内容はよく分かる		英語の学習は将来に役立つ	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
茨城県		52.0%		65.9%		89.5%
全国（公立）		51.2%		64.2%		87.6%

7 生活習慣や学習環境に関する児童生徒・学校質問調査の結果

児童生徒質問調査より

○ 全国の児童生徒数の割合を上回った主な事項

・ 基本的生活習慣等

(「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.3%	82.8%	81.0%	80.5%

・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
将来の夢や目標を持っていますか	83.3%	81.8%	69.0%	67.6%
学校に行くのは楽しいと思いますか	86.8%	85.7%	85.5%	85.4%

・ 学習習慣、学習環境等

(「できている」、「どちらかといえば、できている」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	80.8%	79.4%	79.3%	78.2%

・ 地域や社会に関わる活動の状況等

(「当てはまる(よくしていた)」、「どちらかといえば、当てはまる(ときどきしていた) 」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	81.4%	80.1%	73.3%	72.3%

・ I C Tを活用した学習状況

(「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
あなたは自分が PC・タブレットなどの I C T機器を使って学校での活動でプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると感じますか	78.0%	74.6%	82.7%	80.0%

・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	79.9%	78.4%	80.5%	79.0%
5年生までに〔1、2年生のとき〕受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	79.2%	77.6%	79.4%	78.8%

▼ 全国の児童生徒数の割合を下回った主な事項

・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等

(「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
自分には、よいところがあると思いますか	85.2%	85.6%	83.0%	84.0%
あなたの学級では人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	66.8%	69.6%	65.5%	67.5%

・ 学習習慣、学習環境等

(「ほぼ毎日」、「週1～2回」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国

学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	35.6 %	35.5%	<u>34.7%</u>	36.4%
-------------------------------------	--------	-------	--------------	-------

学校質問調査より

○ 全国の学校数の割合を上回った主な事項

・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

(「週1回程度、または、それ以上行った」、「月数回程度行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	82.1%	79.5%	78.3%	65.2%

・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	92.5%	88.1%	95.6%	86.1%
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	91.2%	87.0%	88.1%	79.9%

・国語科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項 [] は中学校	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書く〔互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる〕ことができるような指導を行いましたか	97.3%	94.3%	99.1%	93.9%

・算数・数学科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか	95.2%	91.8%	97.8%	89.2%

・英語科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動を行いましたか			89.4%	76.7%

・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

(「ほぼ毎日」、「週3回以上」、「週1回以上」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の児童（生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか	83.2%	80.2%	89.3%	78.0%

▼ 全国の学校数の割合を下回った主な事項

・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

(「全学年で実施している」、「一部の学年で実施している」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
特定の教員が学級担任を務めるのではなく、複数の教員が共同で学級担任を務める体制（いわゆる、チーム担任制、グループ担任制）を実施していますか	30.4%	32.2%	27.5%	21.5%

・英語科の指導方法

(「よく行った」、「どちらかといえば、行った」と回答した割合)

質 問 事 項	小学校		中学校	
	茨城県	全国	茨城県	全国
調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える活動を行いましたか			93.0%	94.1%